

全体会ご案内

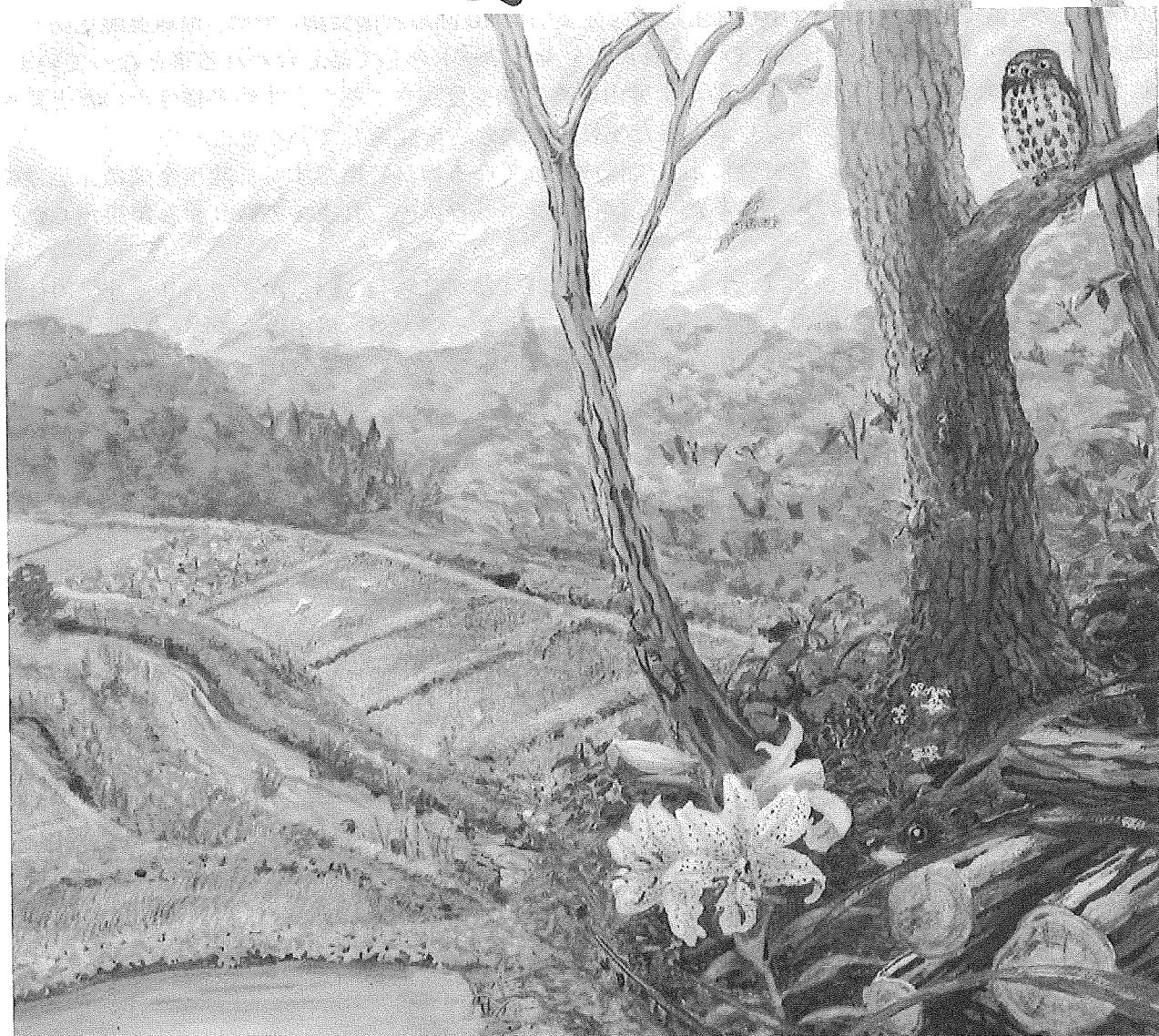
里山に託す私たちの未来

2009年テーマ

第6回 里山フェスティバル

里山シンポジウム

里山と食料・水・木炭



主催

里山シンポジウム実行委員会、千葉県、佐倉市、
敬愛大学、(社)千葉県緑化推進委員会、ちば里山センター

開催趣旨

今回のシンポジウムでは、里山からの恵みの価値について再評価しようとするものです。

食料や水、木材は、私たちの暮らしに欠くことができないものであり、これらはすべて里山からの恵みであり、それはみな里山に人の手が加わることによってもたらされてきたものです。

里山で得られる地元の資源の価値を再認識し、地元力を見直す、さらに自立した循環の仕組みをつくることが結果的に地域の底力となっていくことを考えていけたらと思います。

ご挨拶

里山シンポジウム実行委員会代表 金親博榮

県の里山条例制定をきっかけにはじまった里山シンポジウムも、多くの方々のご協力をいただきながら今回で6回目となります。

当初は、「里山」という言葉すらまだ十分知られておらず、私たちの活動も全くの手探りでした。毎年どんなテーマで取り組むか、内容はどうするかと、話し合いを重ねて、ここまでやってまいりました。私たちの活動は亀の歩みのようではありますが、それでも回を重ねるごとに仲間が増え、多くの方々が里山の大切さに気づいてくれるようになりました。

2010年に愛知県で開催されるCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)では、地球温暖化防止に加えて生物多様性保全の重要性が、“SATOYAMA”をキーワードとして話し合われる事となっています。

「残したい、守りたい」と私たちを突き動かす里山の美しさや豊かさこそが、生物多様なのだと気づいた私たちは、改めてこれまでのシンポジウムの果たす役割の大きさを認識しているところです。

また、本シンポジウムは多くの分科会によって構成されているのが特徴ですが、昨年全国に先駆けて示された「生物多様性ちば県戦略」の策定にあたっては、シンポジウムのこれまでの取り組みが果たした役割は大きかったものと考えております。

生物多様性を保全するという事は、すなわち私たちが「どう暮らしていくか」であり、社会の仕組みやあり方につながります。里山の懐の大きさを改めて感じるころですが、里山保全をキーワードに今後いっそう生物多様性豊かな社会づくりに取り組む仲間が広がっていくことを祈っております。

プログラム

(敬称略)

| | | |
|-------------|----------------------|---------------------------|
| (総合司会) | 里山シンポジウム実行委員 桑波田 和子 | |
| 13:00~13:20 | 開会 | 里山シンポジウム実行委員会副代表 小西 由希子 |
| | あいさつ | 佐倉市長、千葉県農林水産部次長 |
| 13:20~13:40 | 趣旨説明 | 里山シンポジウム実行委員会代表 金親 博榮 |
| 13:40~13:55 | 佐倉市畔田の取り組みの紹介 | (財)佐倉緑の銀行 小野 由美子 |
| 13:55~14:05 | 休憩 | |
| 14:05~14:20 | 里山里海サブグローバル生態系評価について | 千葉県立中央博物館 生物多様性センター 中村 俊彦 |
| 14:20~16:00 | パネルディスカッション | |
| | パネラー | 食料 : 田中 素子 (株)旭鶴 杜氏 |
| | | 水 : 嶋津 暉之 水源開発問題全国連絡会共同代表 |
| | | 木材 : 伊藤 道男 千葉県農林水産部森林課長 |
| | コーディネーター | 吉田 正人 江戸川大学教授 |
| 16:00~16:10 | 休憩 | |
| 16:10~17:00 | 会場との意見交換 | |
| 17:00 | 閉会あいさつ | 里山シンポジウム実行委員会副代表 栗原 裕治 |

パネラー・コーディネーター

パネラー

田中 素子（たなか もとこ） 株式会社 旭鶴 杜氏（あさひづる とうじ）

成田市生まれ。日本大学国際関係学部を卒業して、千葉興業銀行に入行。同船橋・柏支店で外貨両替等を担当する。1988年に佐倉市の造り酒屋の長男との結婚を機に退行。蔵の帳簿担当（経理）をしながら見習いを始める。各地の造り酒屋で修行を続けて、1998年に女性の杜氏（醸造責任者）となる。

現在は、憐旭鶴の杜氏として、手造りのこだわりの酒を製造している。南部杜氏協会会員。

家族6人、二男一女の母。

嶋津 暉之（しまづ てるゆき） 水源開発問題全国連絡会 共同代表

1943年中華人民共和国河北省張家口生まれ。東京大学工学部卒業。2004年3月まで東京都環境科学研究所に勤務。市民団体「水源開発問題全国連絡会」共同代表。（著書）「水問題原論（北斗出版1991年）」、「地下水資源の開発と保全（共著、水利科学研究所1973年）」、「やさしい地下水の話（共著、北斗出版1993年）」、「改訂地下水ハンドブック（共著、建設産業調査会1998年）」、「首都圏の水が危ないー利根川の治水・利水・環境は、いま（共著、岩波書店2007年）」など。

伊藤 道男（いとう みちお） 千葉県 農林水産部 森林課長

千葉市花見川区生まれ。1973年東京農工大学卒業。千葉県林業職員として、治山、森林計画、普及などを担当し、第54回全国植樹祭、里山条例制定などに関わる。2008年度より、県農林水産部森林課長として県の森林政策を担う。

コーディネーター

吉田 正人（よしだ まさひと） 江戸川大学社会学部 教授

佐原市生まれ。1979年千葉大学卒業。日本自然保護協会常務理事として、森林、河川、干潟、藻場、里山など全国の自然保護問題に取り組むとともに、IUCN（国際自然保護連合）日本委員会事務局として、国際的な自然保護問題に携わる。2004年から江戸川大学に移り、保全生態学、環境教育、文化自然遺産論などを教える。2007年よりIUCN日本委員会会長、2009年より生物多様性条約市民ネットワーク共同代表。千葉県環境審議会委員、千葉県三番瀬再生会議副会長などをつとめる。

協賛団体

アクア庵、夷隅郡市自然を守る会、海のもの山のもの料理研究会、NPO法人アースデイ・エブリデイ、NPO法人SUNBUCEDAR、NPO佐倉みどりネット、NPO法人しろい環境塾、NPO法人竹研究会、NPO法人千葉県市民農園協会、NPO法人千葉自然学校、NPO法人ちば環境情報センター、NPO法人千葉まちづくりサポートセンター、NPO法人千葉県精神保健福祉協議会、NPO法人八千代オイコス、NPO法人四街道メダカの会、小びつ川の水を守る会、環境パートナーシップちば、鬼泪山国有林を守る市民の会、ごみゼロネット21、佐倉里山クラブ、佐倉里山ガーディアン、佐倉自然同好会、(財)佐倉緑の銀行、桜宮自然公園をつくる会、残土・産廃問題ネットワーク・ちば、さんむ・アクションミュージアム、さんむフォレスト、山武木材組合、自然と文化研究会 theかもめ、下泉・森のサミット、石神谷津の四季を楽しむ会、(社)千葉県建築士会、生物多様性展示実行委員会、関さんの森を育む会、千葉県がんセンター、千葉県建築家協会、千葉県の動物保護条例の制定を求める実行委員会、千葉県自然観察指導員協議会、千葉県森林組合北総支所、千葉市森林組合、ちばのたね、千葉県千葉リハビリテーションセンター、ちば発達評価・心理指導ルーム、千葉県手をつなぐ育成会、千葉県木材市場協同組合、千葉県木材振興協会、ちば・谷津田フォーラム、日本雁を保護する会、日本建築学会千葉支所、農薬空中散布反対千葉県ネットワーク、PWプラスONE、人と自然をつなぐ仲間・佐倉、プロジェクトとけ、北限のトビハゼを守る会、ぼんた里山の会、街づくり市民の会、緑の環協議会、都川と丹後堰公園に親しむ会、八千代自然と環境を考える会、八千代市はたの里づくり実行委員会、谷当グリーンクラブ、有害化学物質から子どもの健康を守る千葉県ネットワーク、四街道自然同好会、四街道メダカの会、四街道プレーパークどんぐりの森、ラムサール・ネットワーク日本、ワークホーム里山の仲間たち、「わたしの田舎」谷当工房

分科会開催スケジュール

| | 分科会名 | テーマ | 開催日 | 会場 |
|-----------|---------------------------|-----------------------------------|--|-----------------------|
| 終了 | 里山と教育 | 校庭の樹木に自然を学ぶ | 2月22日 | 千葉県立中央博物館講堂 |
| 終了 | 八千代の里山 | 谷津・里山を活かす町づくりと農業 | 3月21日 | 八千代市郷土博物館学習室 |
| 終了 | 里山と森づくり | 里山の森の復元 | 3月28日 | 千葉市緑区小山町 |
| 終了 | 里山と野点 | スローライフ | 4月4日 | 下泉・森のサミット |
| | 里山と伝承技能 | 里山伝承技能の講座 | 4月1日～12月31日 年間複数回 | 山武市早船地区の谷津田と周辺 |
| 1回目 終了 | 里山と政策 | オフセット・クレジット(J-VET)を 里山保全に生かすには | 4月11日, 6月8日 | Qiball ほか |
| 1回目 終了 | 里山と残土産廃 | 森林学習会 | 4月5日 | 千葉市民文化センター |
| 終了 | 里山と芸術 | 4月の里山 | 4/18, 4/19, 4/29 | 直弥の湧水, 佐倉市立美術館 |
| 終了 | 里山と都市緑地 | 都市に残る里山の価値 | 4月19日 | 関さんの森 |
| 終了 | 里山と水循環 | 印旛沼を知る 「里沼のめぐみ(生態系サービス)」 | 4月25日 | 敬愛大学佐倉キャンパス |
| 終了 | 里山と農業 | 遊休農地 | 4月25日 | 敬愛大学佐倉キャンパス |
| 終了 | 里山とみつばち問題 | ミツバチ群崩壊がもたらす 生物多様性危機のシグナルを知る | 4月25日 | 敬愛大学佐倉キャンパス |
| 終了 | 里山に託す私たちの 未来 | 里山と生物多様性の未来 | 4月26日 | 千葉市谷当キャンプ場 |
| 1回目 終了 | 里山と医療・福祉 | 森林療法(セラピー) | 4/29, 5/24, 6/21, 9/6, 11/22, H22./2/21 | 泉自然公園ほか |
| 終了 | 佐倉市の里山 | 佐倉市の谷津環境の保全 | 5月11日 | 畔田谷津 |
| 終了 | 里山(山・川・海)と フィールドミュージアム | フィールドミュージアム現地ワーク (関宿城周辺) | 5月16日 | 関宿城博物館とその周辺 |
| | 里山と竹 | 竹林整備の必要性和 美味しい穂先タケノコ | 5月23日 | 成田市竹林セラピー園 |
| | 里山とあそび | 木登り体験 | 5月24日 | 千葉市谷当キャンプ場 |
| | 里山と里海 | 房総の山～森～里、その現状と課題 | 5月30日 | いすみ市岬町公民館 |
| | 里山と森林・林業 | 農業と山武林業 | 5月30日 | サンプスギの森林、山武市歴史民俗資料館ほか |
| | 里山と生物多様性 | 温暖化と生物多様性、 ホテルを介して | 6月または10月に予定 | 未定 |
| | 千葉市の里山と農業 | 千葉市の里山と竹 | 6月21日 | おぐらの森 |
| | 里山と水鳥と農業 | 里山と田んぼと水鳥 | 7月18日 | 千葉県立中央博物館 |
| | 里山と野生動物 | 野生動物との共生 | 8月または9月1泊2日 | 勝浦, 君津, 夷隅など獣害の地域 |